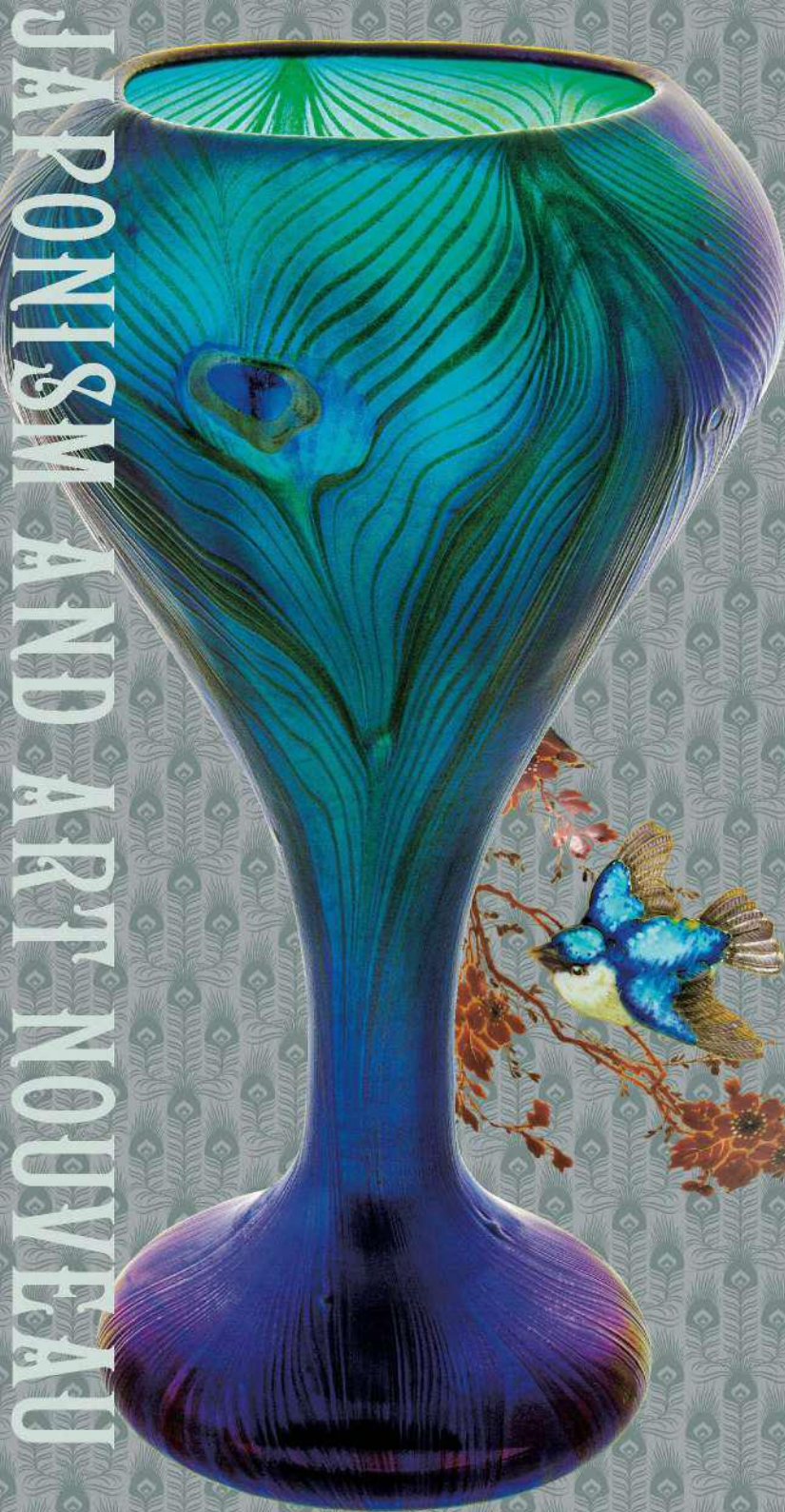


ブダペスト国立工芸美術館名品展

# ジャポニスムから アーナル・ヌーヴォーへ

— 日本を夢見たヨーロッパ工芸 —



PHASES OF JAPONISM IN WESTERN DECORATIVE ART — MASTERWORKS FROM THE COLLECTION OF THE BUDAPEST MUSEUM OF APPLIED ARTS —  
**JAPONISM AND ART NOUVEAU**

2020年 **3.24(火) - 5.10(日)**

開館時間 = 9:30 - 17:00 (最終入館は 16:30)  
休館日 = 月曜日 \*但し 5/4(月) は開館



**福島県立美術館**  
Fukushima Prefectural Museum of Art

〒960-8003 福島市森合字西養生1番地  
TEL: 024-531-5511 FAX: 024-531-0447

福島中央テレビ開局50周年事業・福島民友新聞社創刊125周年事業

主催: ジャポニスム福島展実行委員会 [福島県立美術館、福島中央テレビ、福島民友新聞社]

協賛: 福島トヨタ自動車、佐藤燃料、福島県商工信用組合、JAグループ福島

後援: ハンガリー大使館、福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、郡山市、郡山市教育委員会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、福島県観光物産交流協会、福島県文化振興財団、一般社団法人東北観光推進機構ほか 協力: ルフトハンザカーゴ AG、ルフトハンザ ドイツ航空会社、福島交通、阿武隈急行 企画協力: アートインプレッション

左: ルイス・カンフォート・ティファニー《孔雀文花器》1898年以前 中央: ショセフ・テオドール・テック《花鳥文花器》(部分) 1880年頃 右: シャーンドル・アパーティエ・アスト、ジョルナイ陶磁器製造所《狩りをする雌ライオン像》1908年 \*全てブダペスト国立工芸美術館蔵

19世紀後半、日本の文物がヨーロッパに流入したことで熱狂を巻き起こした「ジャポニスム」は西洋の工芸品やデザインに影響を与えました。その影響は当時の西洋諸国を席卷していたアール・ヌーヴォー様式にも大に見られます。ジャポニスムが流行のスタイルとなった一方、ヨーロッパ諸国の工芸美術館は日本の漆工芸や陶磁器を収集しました。ブダペスト国立工芸美術館も1872年の開館当初から日本の美術品を積極的に収集してきたのです。

本展は、日本の美術がどのようにして西洋に影響を与えたか、そして日本美術を西洋がどのように解釈したか、その歴史を辿るものです。ジャポニスムとアール・ヌーヴォーをテーマに、ブダペスト国立工芸美術館の所蔵品から、ティファニー、ガレ、ドーム兄弟などの名品とともに、ジョルナイ陶磁器工房などハンガリーを代表する作品群を含めて約200点を紹介します。



ジョセフ・テオドール・デック《花鳥文花器》  
1880年頃



ルイス・カンフォート・ティファニー《植物文栓付香水瓶》  
(化粧セットの一部) 1913年頃



ドーム兄弟《多層間金箔封入小鉢》  
1925年-1930年



ルネ・ラリック《ナーイアス図飾皿》  
1920年頃



ジョルナイ陶磁器製造所《葡萄新芽文花器》  
1898年-1899年



エミール・ガレ《洋蘭文花器》  
1900年頃

\*全てブダペスト国立工芸美術館蔵

PHASES OF JAPONISM IN WESTERN DECORATIVE ART—MASTERSWORKS FROM THE COLLECTION OF THE BUDAPEST MUSEUM OF APPLIED ARTS

# JAPONISM AND ART NOUVEAU

ティファニー、ガレ、ラリックも——

観覧料＝一般1,300(1,100)円、大学生・専門学校生1,100(900)円、小・中・高校生650(500)円

\* ( )内は前売券、20名以上の団体料金 \* 展示会の観覧券で常設展もあわせてご覧いただけます。

\* 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は企画展・常設展とも無料

(身障、療育手帳については第1種、保健福祉手帳は1級の場合、付添いの方1名も無料)

\* チケット購入の際には、学生証のご提示をお願いします。

前売券の発売は1月18日(土)から3月23日(月)まで

プレイガイド/福島県立美術館、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)、福島県消費組合、福島市役所売店、福島交通飯坂線、阿武隈急行、中合福島店、うすい百貨店、けんしん郡山文化センター、會津風雅堂、ファミリーマート、セブンイレブン、ローソン、福島民友新聞販売店、[仙台]藤崎、仙台三越、[山形]大沼山形本店、イープラス

ホームページ:

[http://www.fct.co.jp/Japonisme\\_F/](http://www.fct.co.jp/Japonisme_F/) 詳しくはWEBで「ジャポニスム福島展」とご検索ください。



## 関連イベント

### ◆講演会

会場:美術館講堂 各回とも 14:00 ~ 15:30頃 \*聴講無料

日時:3月24日(火) 開幕記念講演会

ガブリエラ・パツラ氏(ブダペスト国立工芸美術館キュレーター、本展監修者)

日時:3月28日(土)「海を渡った日本工芸とジャポニスム」

木田拓也氏(武蔵野美術大学教授、本展監修者)

### ◆ゲストトーク

「アール・ヌーヴォーとガラス—ガラスアーティストの視点から—」

会場:企画展示室 \*企画展観覧券が必要です

日時:4月18日(土) 14:00 ~ 15:00

近岡令氏(ガラス作家)

### ◆金子三勇士 スペシャルピアノコンサート

ハンガリーと日本を結ぶ本展サポーターにピアニストの金子三勇士さんが就任しました。会期中、レクチャーコンサートを開催します。ハンガリーを代表する作曲家、リスト、コダーイ、バルトークの作品やジャポニスムの影響を受けたドビュッシーの名曲を演奏します。

会場:とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

日時:4月4日(土) 13:30開演(12:45開場)

料金:3800円 [観覧会入場券つき]

詳細は本展HPをご確認ください。



次回企画展:もうひとつの江戸絵画 大津絵展(予定) 2020年5月19日(火)~6月28日(日)



電車:JR福島駅東口より福島交通飯坂線→「美術館図書館前駅」下車、徒歩2分/バス:JR福島駅東口より福島交通バス9番乗り場から市内循環もりん2コース→「県立美術館入口」下車、徒歩3分/タクシー:JR福島駅東口、西口より約5分/車:東北自動車道福島飯坂ICより約15分、福島西ICより約20分 \*駐車場には数に限りがありますので、JR東日本、阿武隈急行、福島交通飯坂線、市内循環もりんバスなどの公共交通機関をご利用ください。 福島交通飯坂線には、期間中、当日券+往復乗車券セットチケット、前売券をお持ちの方に往復乗車割引券があります。

**福島県立美術館**  
Fukushima Prefectural Museum of Art

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地  
TEL:024-531-5511 FAX:024-531-0447

## 音声ガイド

ナビゲーターは元宝塚トップ娘役 白羽ゆりさん。 展示会をよりいっそうお楽しみいただけます。 料金600円(税込)

